



第1号
とよなかASP
ネットワーク連絡会
発行日H24. 4. 2.

とよなかASPネット配信にあたって・・・

とよなかASPネットワークとは、ユネスコ・スクールの正式名称です。豊中市では、中学校2校、小学校3校がユネスコ・スクールに登録しており、豊中市の国際教育推進の中核的役割を担っています。今年から、市内各学校園に本紙面でその取組みと、国際教育に係る情報を紹介していきたいと考えています。ご一読いただくと幸いです。

ESD実践ガイド、とよなかスクールネットで配信!

豊中市国際教育推進協議会では平成23年度(2011年度)の研究で、国際社会を生きる力、その素地となる主要能力、多文化共生やコミュニケーション力等の育成を各学校園で取り組んでいただくため、ESD実践ガイドを作成しました。

ESD実践ガイドは、完成したものを提供するものではなく、レシピとしてお示しし、味付けは、各学校の実態や特色に応じて行っていただきたいと思います。

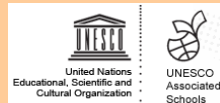
まずは、4月2日付け各学校園にお配りしたESD実践ガイド概要版をご覧ください、できそうな分野、カテゴリーから授業等で取り組んでみてください。

ESDは、特別なものではありません。私たちが暮らす国際社会がよりよいものになり、次の世代へ、さらにその次の世代へ受け継がれることを意識しながらカリキュラムや授業を捉えてみてください。現場の先生方がお一人でも実践いただくことを楽しみにしております。

【お願い】

- 一緒にお配りしたアクセスシールをPCの端に貼り付けご活用ください。
- 現在のESD実践ガイドをさらに充実していくために学校等現場での実践事例を学期ごと募集する予定です。実践されたら事務局まで情報提供をお願いします。

<豊中市国際教育推進協議会事務局より>



「国連持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」
最終年合会開催地が日本に決定!

- 名古屋市：閣僚級合会及び全体の取りまとめ合会
- 岡山市：国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPO等の主な合会
なお、他の自治体については、サイドイベント等の実施を通じて、連携・協力を図っていく。

豊中市ユネスコ・スクールの実践から

第十一中学校自然科学部 ～ESDから見る島熊山の自然林～



椎の実



五感で感じる

ドングリの木!

ドングリは、誰もが知っているあの小さな実。

じゃあドングリは何の木になるの?

ドングリは食べられるの?

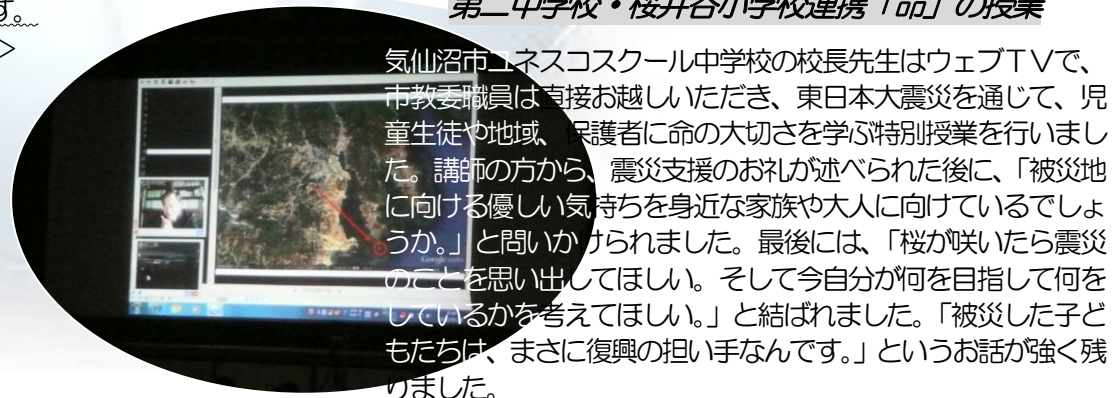
そもそもドングリって何?

そんな疑問に私たち豊中十一中自然科学部が答えます。

豊中第十一中学校の自然科学部の生徒たちは、校区にある島熊山の自然林の研究に取り組み、里山としての島熊山を知り、豊かな自然を後世に残したいという思いで日々活動に取り組んでいます。その研究の一端を、多文化フェスティバルで発表してくれました。生徒たちは、自ら里山を守るため、まず、そこに生息する植物等の調査を続けました。活動から見えてきたものをわかりやすくまとめ、私たちに伝えてくれました。また、クイズ形式にして疑問にも答えてくれました。

生徒たちの心には、ふるさと山「島熊山」への愛着と畏敬の念がしっかり芽生えていることに感動しました。

第二中学校・桜井谷小学校連携「命」の授業



気仙沼市ユネスコスクール中学校の校長先生はウェブTVで、市教委職員は直接お越しいただき、東日本大震災を通じて、児童生徒や地域、保護者に命の大切さを学ぶ特別授業を行いました。講師の方から、震災支援のお礼が述べられた後に、「被災地に向ける優しい気持ちを身近な家族や大人に向けているでしょうか。」と問いかけられました。最後には、「桜が咲いたら震災のことを思い出してほしい。そして今自分が何を指して何をしているかを考えてほしい。」と結ばれました。「被災した子どもたちは、まさに復興の担い手なんです。」というお話が強く残りました。